

2021年度監査

資料 1

公益社団法人日本雪氷学会 極地雪氷分科会 2021 年度分科会事業実績報告書

[事業分類]

調査・研究・助成

○研究

(1)ワーキンググループ等による研究・観測計画の検討

表彰・普及・啓蒙活動

○普及・啓発

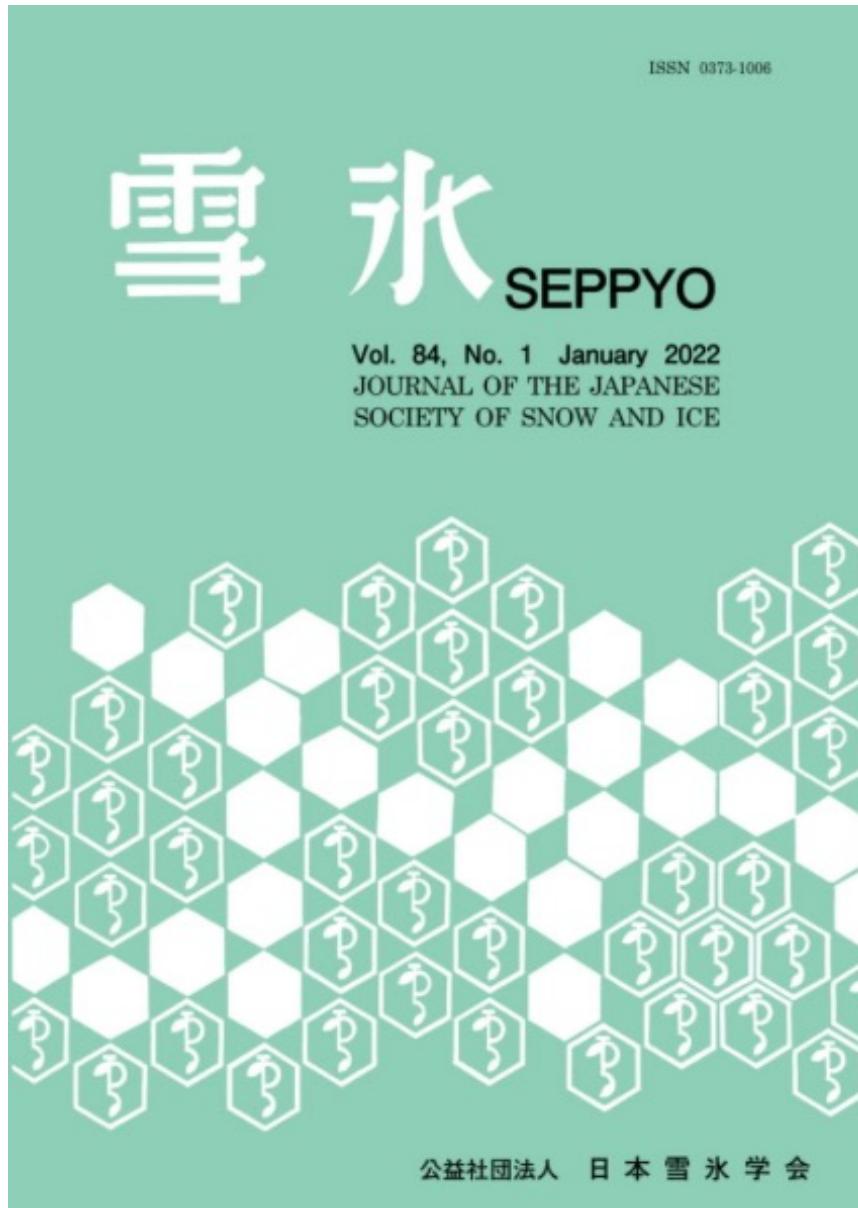
(1)極地雪氷分科会ホームページによる情報発信ならびにホームページの充実

その他

○管理事項

(1)極地雪氷分科会総会の開催 2021 年 9 月 14 日 (火) 17:00-18:30, ZoomB 会場 (オ
ンライン開催)

2021年度監査



雪氷 84 卷 1 号 (2022)

分野ニュース

91

2021 年度極地雪水分科会総会報告

雪氷研究大会（2021・千葉・オンライン）の開催期間中、2021 年度極地雪水分科会の総会を Zoom にて開催した。参加者は総勢 26 名であった。極域における研究プロジェクトの報告や分科会運営に関する議論が活発に行われた。

日 時：2021 年 9 月 14 日（火）17:00～18:30
場 所：Zoom B 会場（オンライン開催）

議事次第：

1. 南極観測

JARE63 計画

- ・ドーム旅行（中澤）
- ・ラングホブデ氷河での热水掘削・観測（杉山）
- ・63 次大気系観測計画 一昭和基地降雪レーダーの観測と AWS 積雪深計の地上検証（平沢）

2. 北極観測

ArCS II

- ・雪氷課題「急激な温暖化に伴う雪氷圈変動の実態把握と変動メカニズムの解明」（青木）
- ・北極域における自然環境の変化が人間社会に与える影響の評価（杉山）
- ・グリーンランド南東ドームにおけるアイスコア掘削報告（飯塚）

3. ワーキンググループ報告

- ・第 3 期ドーム計画対応 WG（川村）

- ・北極雪氷検討 WG からの報告-北極科学大臣会合（榎本）

4. 事業報告

- ・国際対応（島田）

5. 2020 年度極地雪水分科会監査報告（杉浦）

6. その他

- ・極地雪氷特集号の刊行（亀田）
- ・HP 極地写真対応について（大野）

総会では、南極および北極での観測に関する報告、各 WG からの取り組みが報告された。また、事業報告として極域に関連した国際学会等の報告と紹介があった。2020 年度極地雪水分科会監査報告書が示され、適正に極地雪水分科会の活動が行われていることが報告された。極地雪氷特集号の出版（第 83 卷第 1 号と第 2 号）が報告された。

極地雪水分科会総会は、極地雪氷科学に関する最新の情報を交換する場となっている。当該分野に携わっている研究者のみならず、南極や北極での研究や観測への参加を志す学生の皆さんにもぜひ参加していただきたい。なお、総会での発表資料は、下記の極地雪水分科会 HP にて公開しているので、関心のある方はご参照願います。

<https://www.seppyo.org/~polar/>
(富山大学 杉浦幸之助)
(2021 年 11 月 30 日受付)

2021年度監査

2022年9月15日

極地雪水分科会監査報告書

公益社団法人 日本雪氷学会
極地雪水分科会長 亀田 貴雄 殿

2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度における極地雪水分科会事業の監査を、次の通り報告する。

1. 監査の方法

2021年度極地雪水分科会事業報告書を確認し、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

極地雪水分科会の活動は、別途作成された活動報告書のとおり、適正に活動が行われていると判断する。

公益社団法人 日本雪氷学会
極地雪水分科会 監事

香木輝光